

2019年度 決算説明会

2020年5月14日

100年をつくる会社



I

2019年度 決算実績

01

II

2020年度 業績予想

15



2019年度 決算実績

1. 事業環境等の振り返り
2. 業績ハイライト
3. 事業別の概況
4. 財政状態
5. 投資計画

1.事業環境等の振り返り

国内建設市場の動向

- 土木は、高速道路や再生可能エネルギー分野を中心に堅調に推移
- 建築は、首都圏を中心とする再開発事業や製造業の設備投資など民間設備投資が下支えとなった

新型コロナウイルスの影響

- 国内建設事業は、資材調達を含め大きな影響はなかった
- 国内関係会社は、運営施設の稼働率低下が見られたが、影響は軽微

2.業績ハイライト

当期純利益は4年連続で1,000億円以上を確保

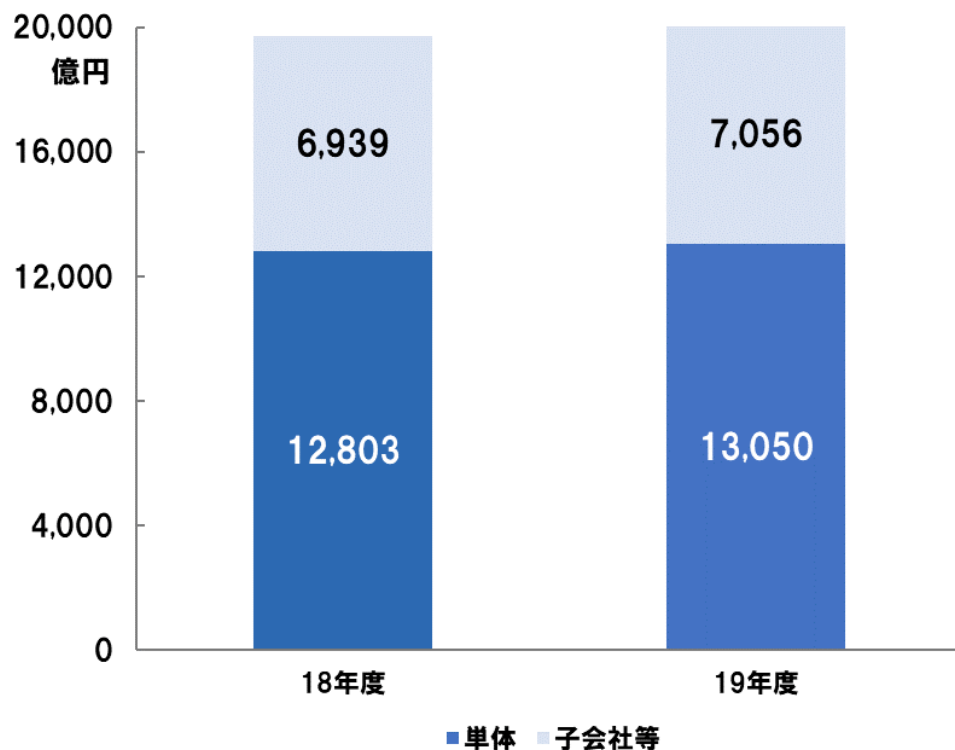
| 単位：億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 19年度 予想 ^{※1} |
|---------------------|------------|------------|--------|--------------------------|
| 売上高 | 19,742 | 20,107 | 364 | 20,000 |
| 営業利益 | 1,426 | 1,319 | △106 | 1,210 |
| 経常利益 | 1,629 | 1,466 | △162 | 1,300 |
| 当期純利益 ^{※2} | 1,098 | 1,032 | △65 | 950 |
| 建設事業受注高 | 20,101 | 17,528 | △2,573 | 18,000 |
| 有利子負債残高 | 2,987 | 3,268 | 281 | 3,300 |

※1 2019年11月12日公表業績予想

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

2.売上高

| 単位:億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 予想比 |
|-------|------------|------------|------|------|
| 売上高 | 19,742 | 20,107 | +364 | +107 |

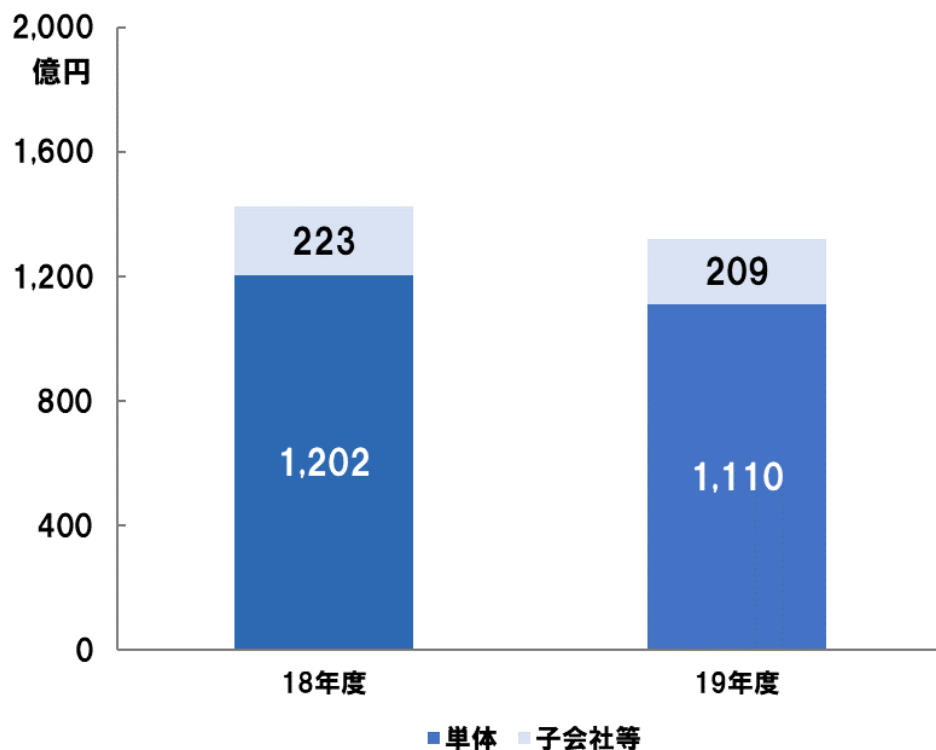


増減要因 (18年度比)

- 単体建築 +294
- 単体土木 Δ 129
- 海外関係会社 +130

2. 営業利益

| 単位:億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 予想比 |
|-------|------------|------------|------|------|
| 営業利益 | 1,426 | 1,319 | △106 | +109 |

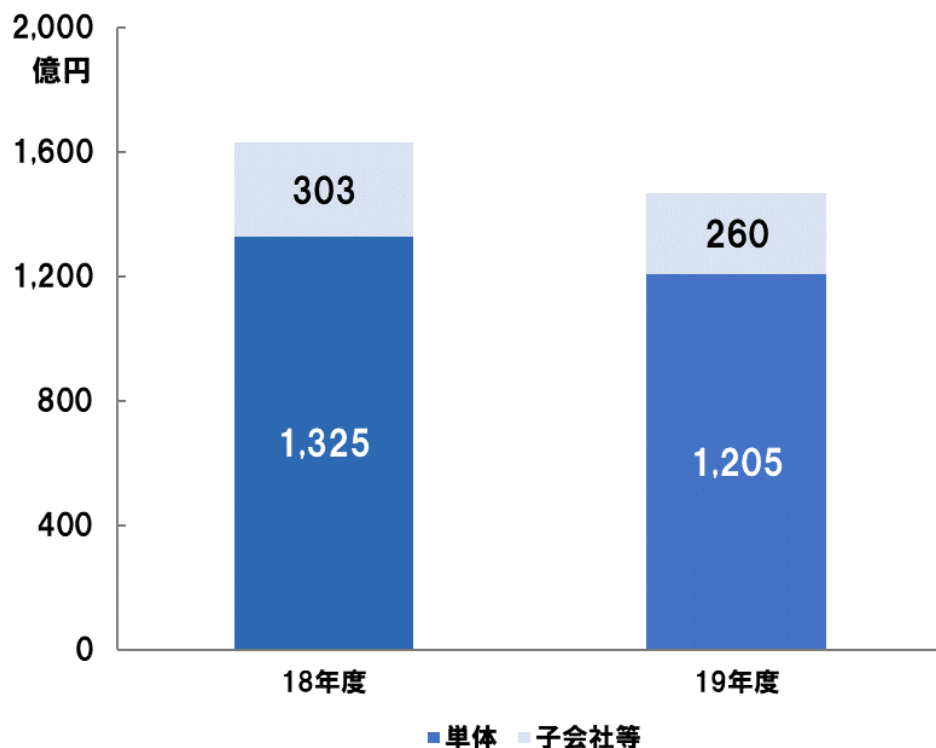


増減要因 (18年度比)

- 売上総利益 (建設事業) $\Delta 98$
- 販管費増加 $\Delta 75$

2. 経常利益

| 単位:億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 予想比 |
|-------|------------|------------|------|------|
| 経常利益 | 1,629 | 1,466 | △162 | +166 |

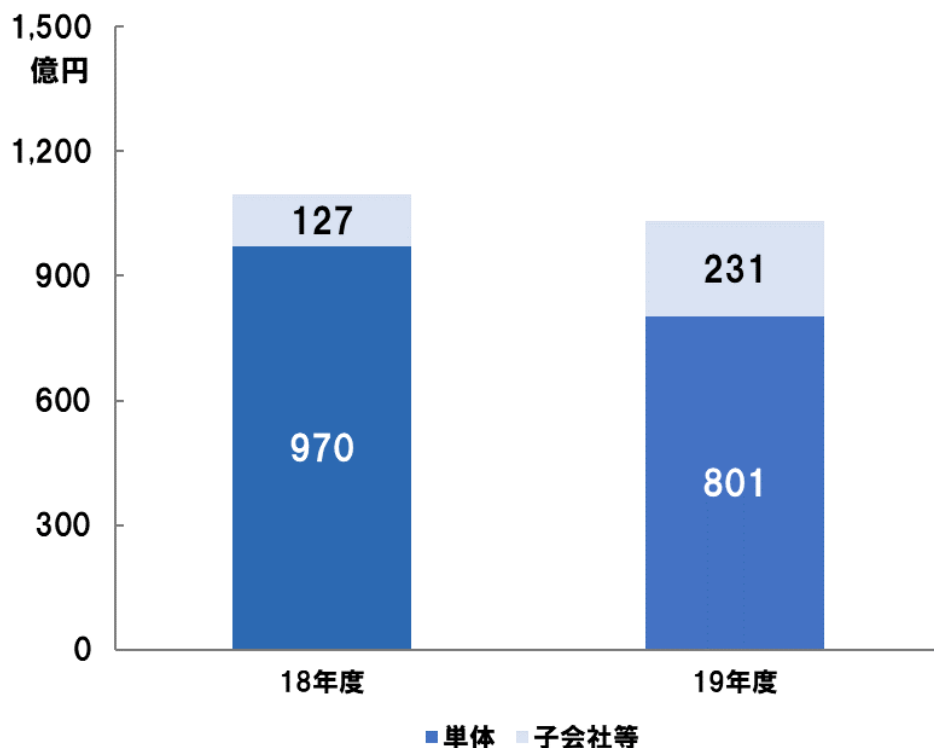


増減要因 (18年度比)

| | |
|------------|------|
| ➤ 営業利益 | △106 |
| ➤ 営業外損益 | △56 |
| (開発事業出資損益 | △18 |
| (持分法投資損益 | △16 |

2.親会社株主に帰属する当期純利益

| 単位:億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 予想比 |
|-------|------------|------------|------|-----|
| 当期純利益 | 1,098 | 1,032 | △65 | +82 |



増減要因 (18年度比)

- 経常利益 △162
- 特別損益 +84
- 法人税等 +14
- 非支配株主持分 △2

3.事業別の概況 ①土木事業(単体)

受注高

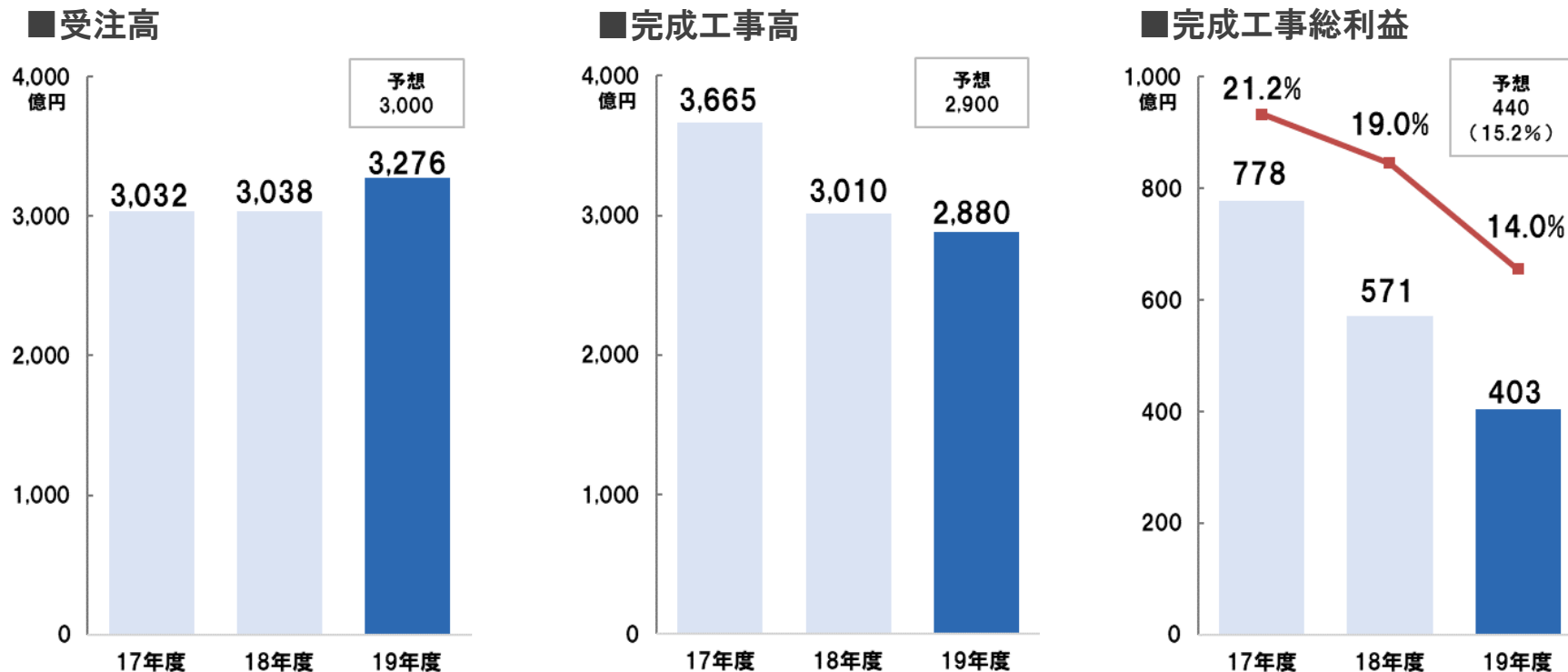
➤ 複数の大型案件の受注により、増加

完成工事高

➤ 18年度と概ね同水準

総利益

➤ 一部工事の進捗低下等により利益の向上が予想を下回った



3.事業別の概況 ②建築事業(単体)

受注高

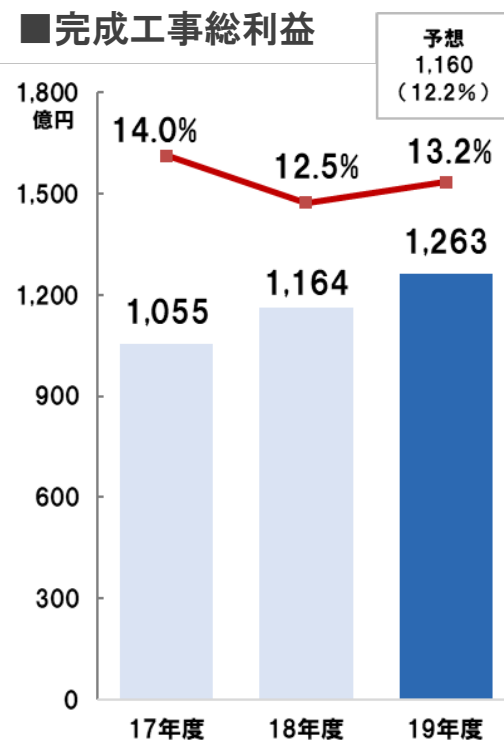
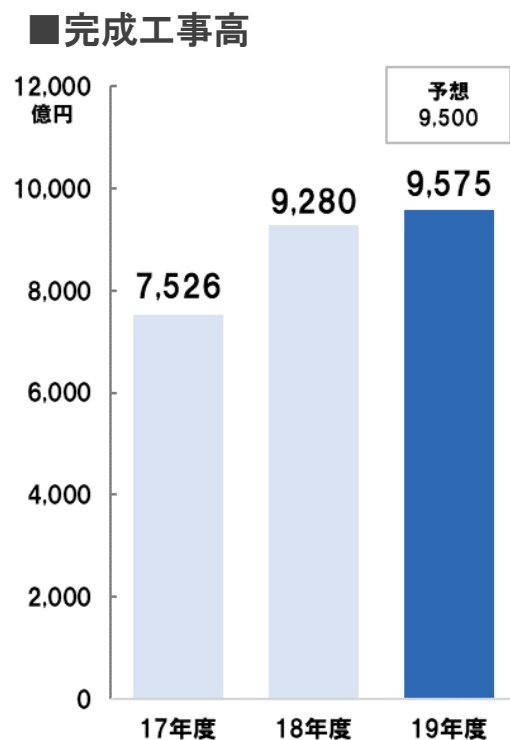
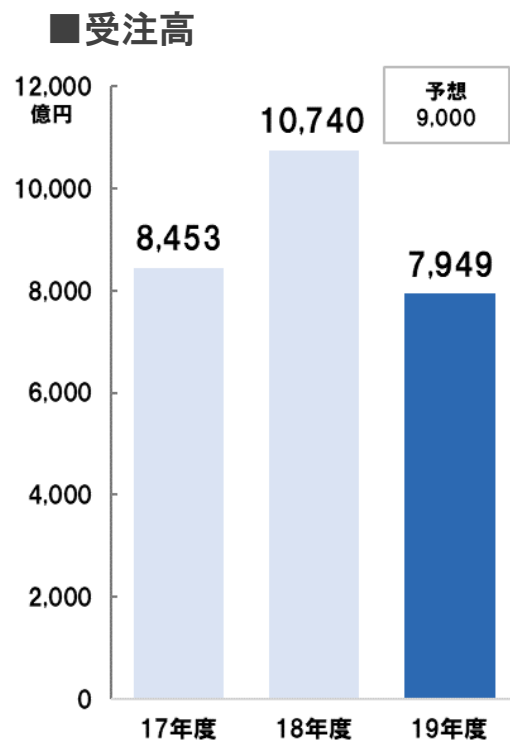
- 内定・高確度案件の期ずれにより減少

完成工事高

- 大型手持ち工事の施工が着実に進捗

総利益

- 追加変更契約の獲得や原価低減効果により総利益率向上



3.事業別の概況 ③開発事業等(単体)

受注高

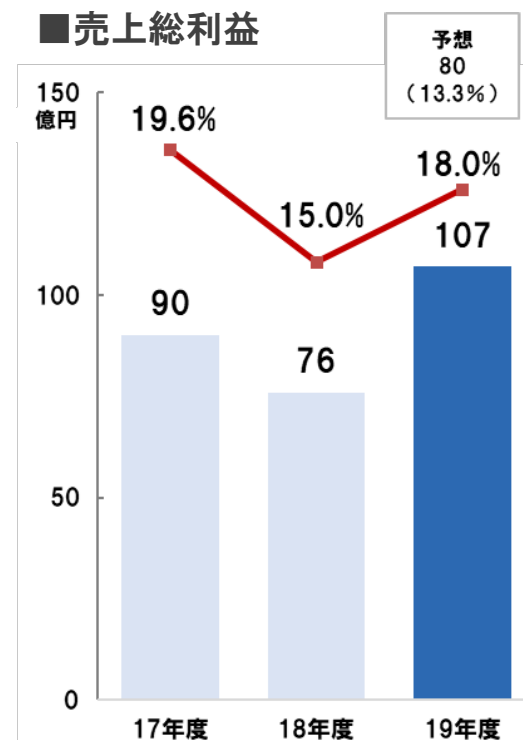
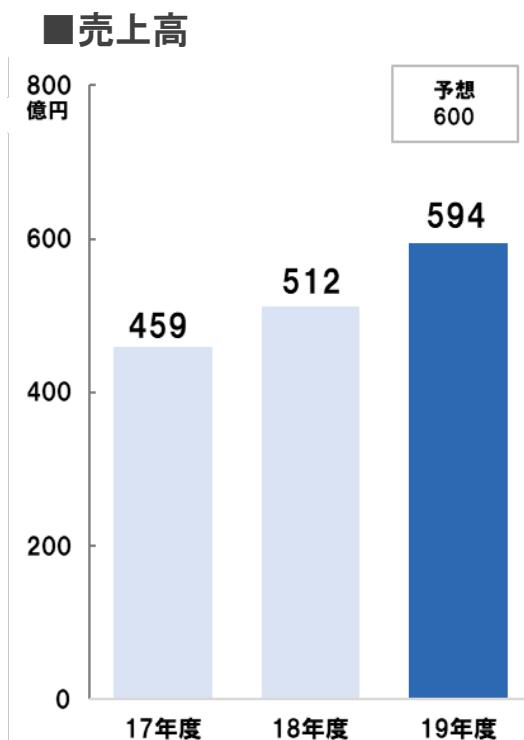
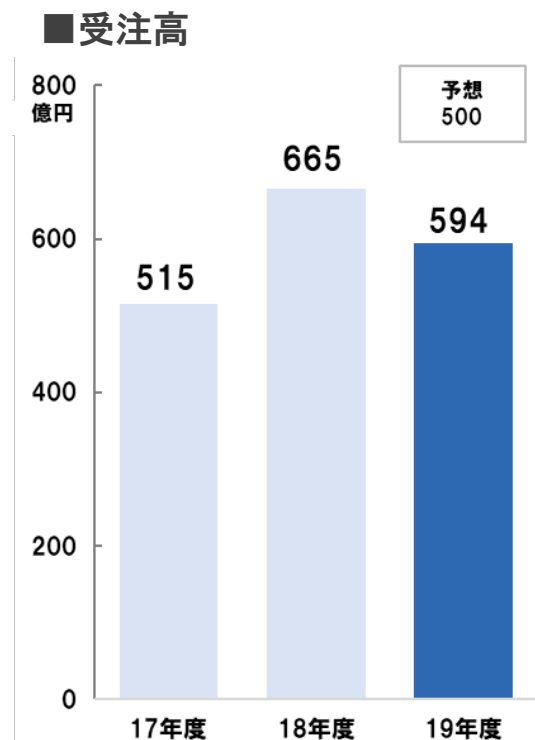
➤ 比較的高い水準を維持

売上高

➤ 大型収益物件の取得や既存収益物件の増賃に加え、複数の物件を売却

総利益

➤ 増収に加え、総利益率が改善



3.事業別の概況 ④国内関係会社

受注高

➤ 18年度と同水準

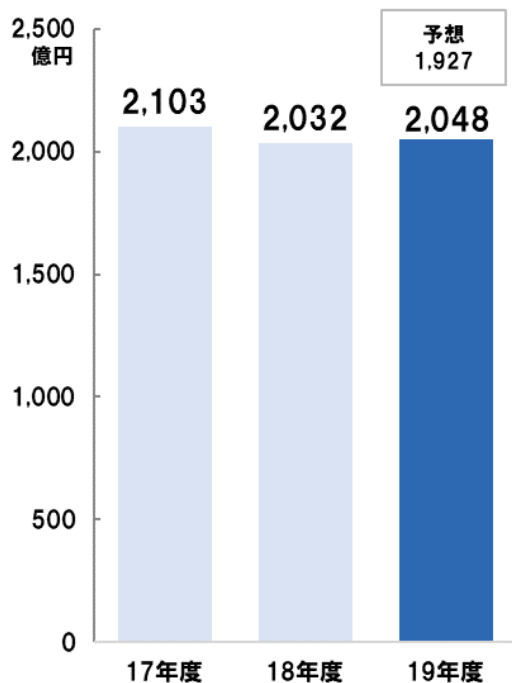
売上高

➤ 18年度と同水準

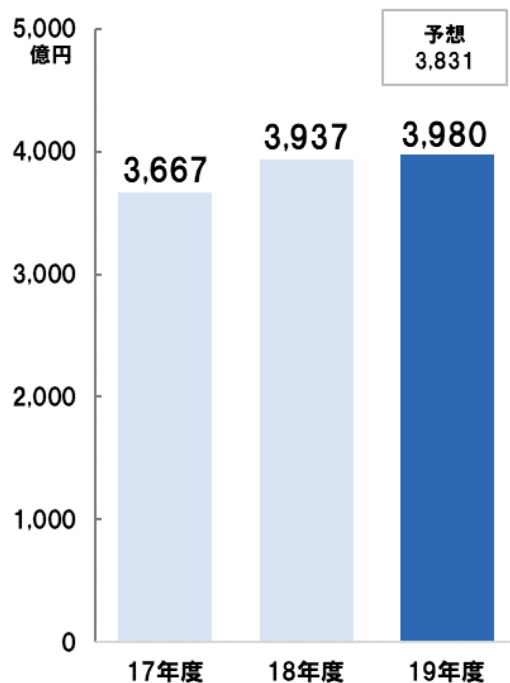
当期純利益

➤ 建設事業の総利益増加を主因に営業増益
 ➤ 18年度に独占禁止法関連損失引当金繰入額87億円、
 19年度に引当金戻入額29億円を計上したことから、特別損益が改善

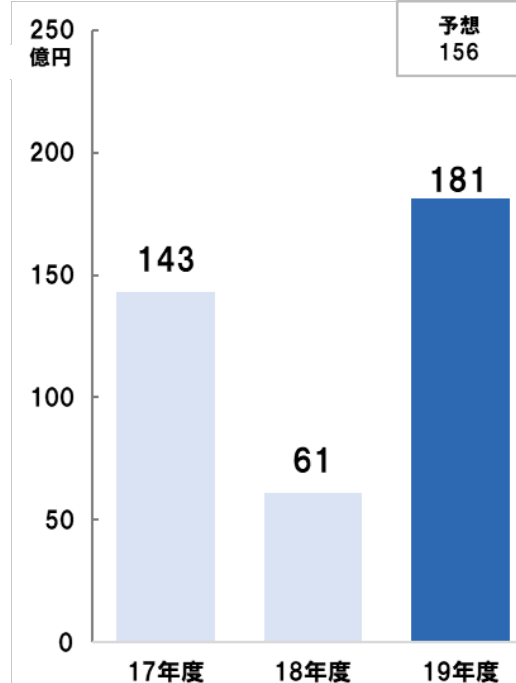
■建設事業受注高



■売上高



■当期純利益



3.事業別の概況 ⑤海外関係会社

受注高

➤ 18年度と同水準

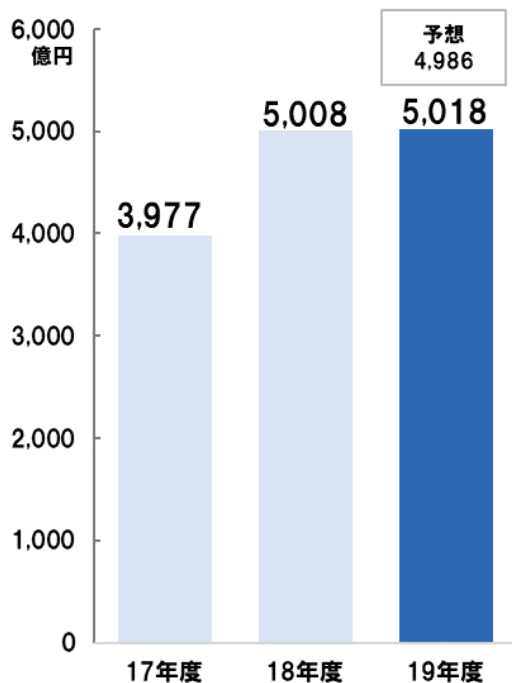
売上高

➤ KUSA(米国)の増加を主因に増加

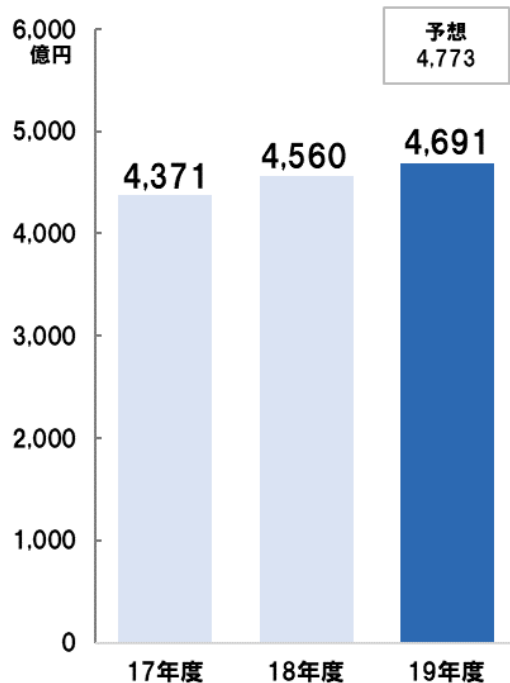
当期純利益

➤ 建設事業総利益の減少等を理由に減益
 ➤ オフバランス開発物件の有利売却により予想を上回る

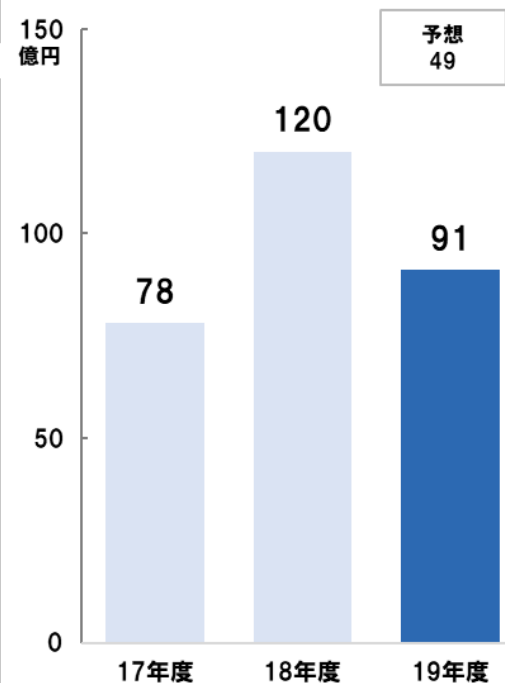
■建設事業受注高



■売上高



■当期純利益



4.財政状態

連結自己資本は、8,000億円の目標に向け順調に推移

| 単位：億円 | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 前年度比 | 19年度 予想 ^{※1} |
|--------|------------|------------|--------|--------------------------|
| 総資産 | 20,911 | 21,721 | 809 | — |
| 有利子負債 | 2,987 | 3,268 | 281 | 3,300 |
| 自己資本 | 7,532 | 7,917 | 385 | — |
| 自己資本比率 | 36.0% | 36.5% | +0.5pt | — |
| ROE | 15.5% | 13.4% | ▲2.1pt | — |

※1 2019年11月12日公表業績予想

5.投資計画

- 中期経営計画:3年間(2018年度～2020年度)で総額5,000億円の投資
国内・海外開発事業、並びに、R&Dへの積極投資など
中長期的な観点からの取組を着実に進捗

| | 18年度 実績 | 19年度 実績 | 中期経営計画 投資総額 |
|----------------|------------|------------|----------------|
| ■国内・海外開発事業 | 680億円 | 1,440億円 | 4,000億円 |
| 国内開発事業 | 350億円 | 810億円 | 1,600億円 |
| 海外開発事業 | 330億円 | 630億円 | 2,400億円 |
| ■R&D投資 | 150億円 | 180億円 | 500億円 |
| ■競争力強化・持続的成長投資 | 260億円 | 210億円 | 500億円 |
| 計 | 1,090億円 | 1,830億円 | 5,000億円 |



2020年度 業績予想

1. 業績の見通し
2. 業績ハイライト
3. 事業別の概況
4. 株主還元

1.業績の見通し

新型コロナウイルスの影響と業績の見通し

- 不確実性が高まっており、受注への影響を注視していく
- 単体建設事業については、建築大型工事の施工量が少ない時期に当たることに加え、売上高減少とそれに伴う減益を見込む
- 単体開発事業等は、現在の賃貸・販売契約の状況から影響は軽微
- 国内関係会社は、建設事業の売上高減少、運営施設の稼働率低下等を見込む
- 海外関係会社は、建設事業における一定期間の現場閉鎖と経費増加
開発事業における運営施設の稼働率低下等が見られる

2.業績ハイライト

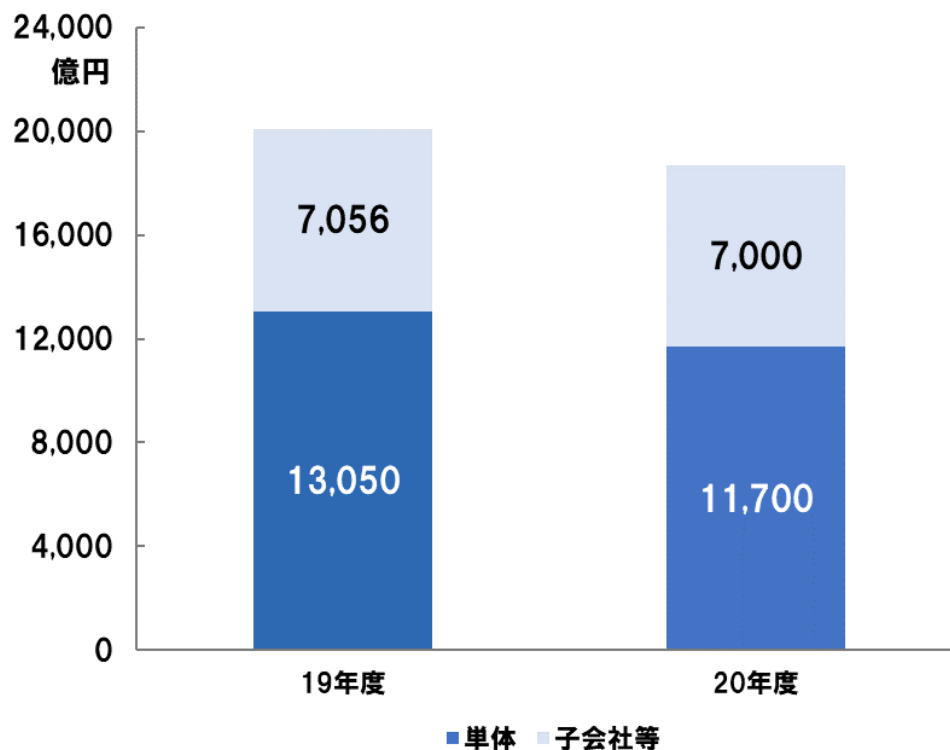
中期経営計画の目標と同額の当期純利益を予想

| 単位:億円 | 19年度 実績 | 20年度 予想 | 前年度比 |
|---------------------|------------|------------|--------|
| 売上高 | 20,107 | 18,700 | △1,407 |
| 営業利益 | 1,319 | 1,110 | △209 |
| 経常利益 | 1,466 | 1,180 | △286 |
| 当期純利益 ^{※1} | 1,032 | 800 | △232 |
| 建設事業受注高 | 17,528 | 18,300 | 771 |
| 有利子負債残高 | 3,268 | 3,800 | 531 |

※1親会社株主に帰属する当期純利益

2.売上高

| 単位：億円 | 19年度 実績 | 20年度 予想 | 前年度比 |
|-------|------------|------------|--------|
| 売上高 | 20,107 | 18,700 | △1,407 |

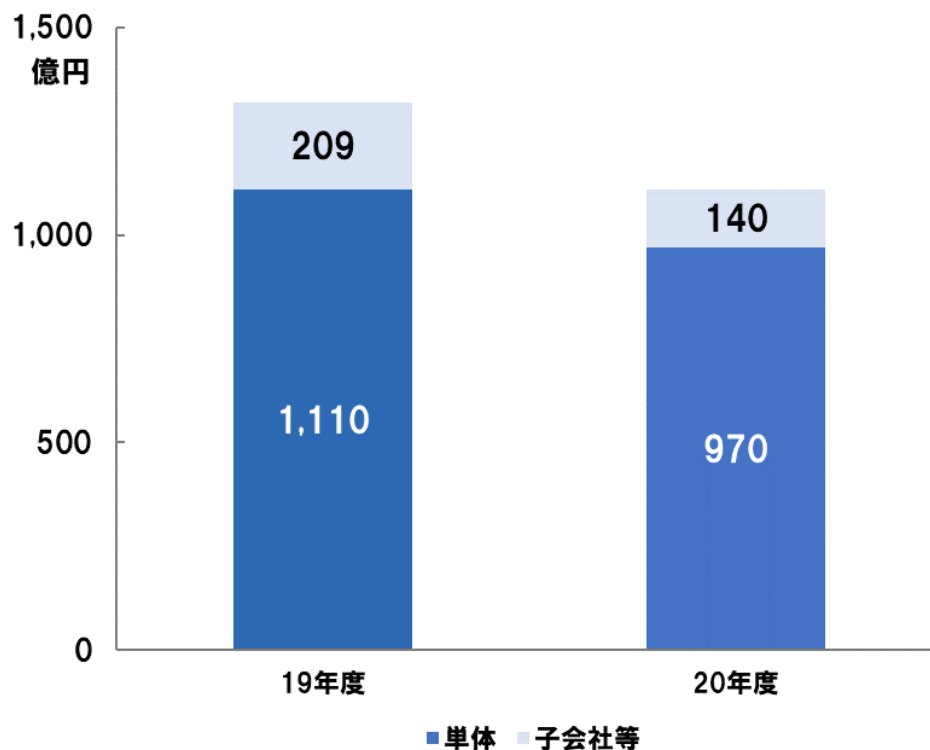


増減要因（19年度比）

- 単体建築 △1,375
- 国内関係会社 △428
- 海外関係会社 +206

2. 営業利益

| 単位：億円 | 19年度 実績 | 20年度 予想 | 前年度比 |
|-------|------------|------------|------|
| 営業利益 | 1,319 | 1,110 | △209 |

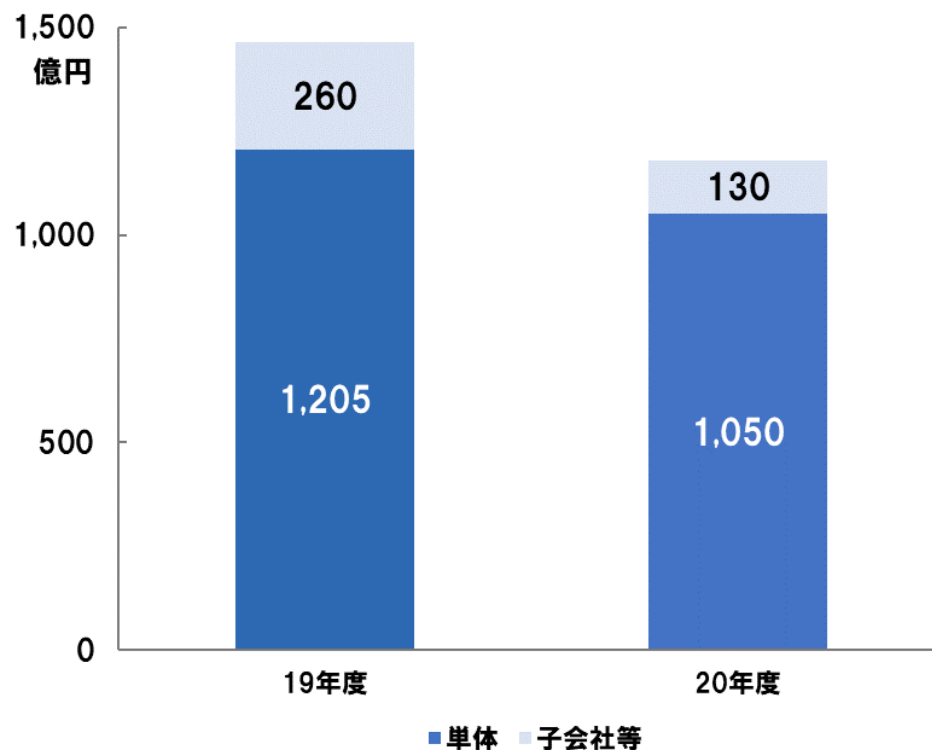


増減要因（19年度比）

- 売上総利益（建設事業） $\Delta 225$
- 売上総利益（開発事業） $+24$
- 販管費増加 $\Delta 8$

2. 経常利益

| 単位: 億円 | 19年度 実績 | 20年度 予想 | 前年度比 |
|--------|------------|------------|------|
| 経常利益 | 1,466 | 1,180 | △286 |

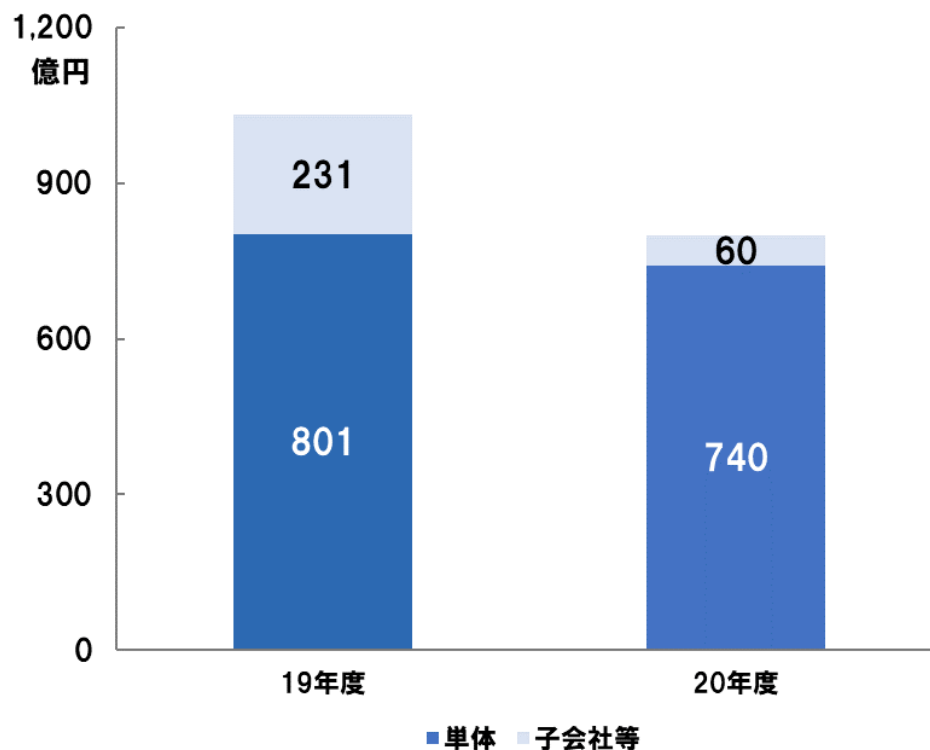


増減要因 (19年度比)

| | |
|----------|------|
| ➤ 営業利益 | △209 |
| ➤ 営業外損益 | △76 |
| (金融収支 | △30 |
| 開発事業出資損益 | △27 |

2.親会社株主に帰属する当期純利益

| 単位:億円 | 19年度 実績 | 20年度 予想 | 前年度比 |
|-------|------------|------------|------|
| 当期純利益 | 1,032 | 800 | △232 |



増減要因 (19年度比)

| | |
|-----------|------|
| ➤ 経常利益 | △286 |
| ➤ 特別損益 | △29 |
| ➤ 法人税等 | +86 |
| ➤ 非支配株主持分 | △2 |

3.事業別の概況 ①土木事業(単体)

受注高

➤ 3,000億円台の維持を見込む

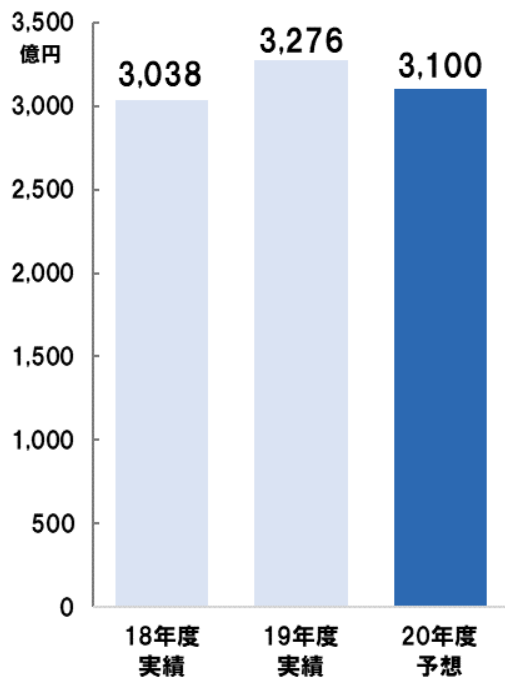
完成工事高

➤ 19年度と同水準を見込む

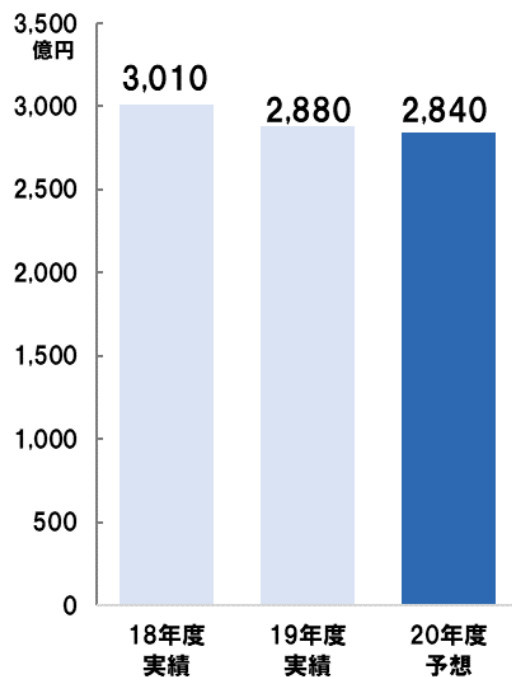
総利益

➤ 生産性向上や原価低減により、総利益率は15%台への回復を見込む

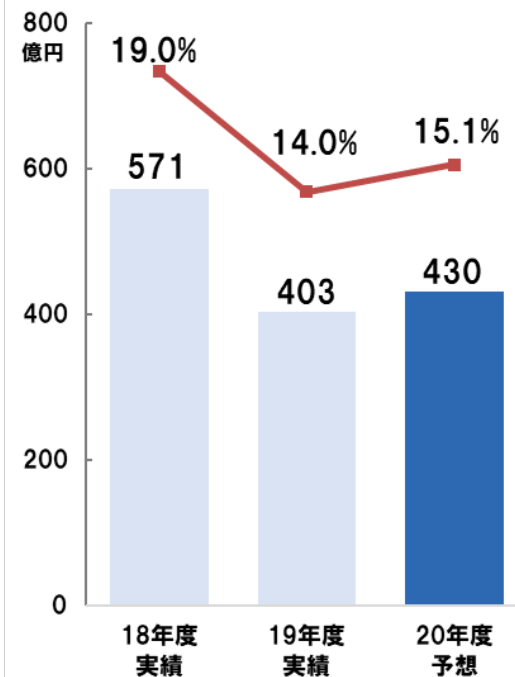
■受注高



■完成工事高



■完成工事総利益



3.事業別の概況 ②建築事業(単体)

受注高

- 内定案件をベースに増加を見込むが、新型コロナウイルスの影響に注視する

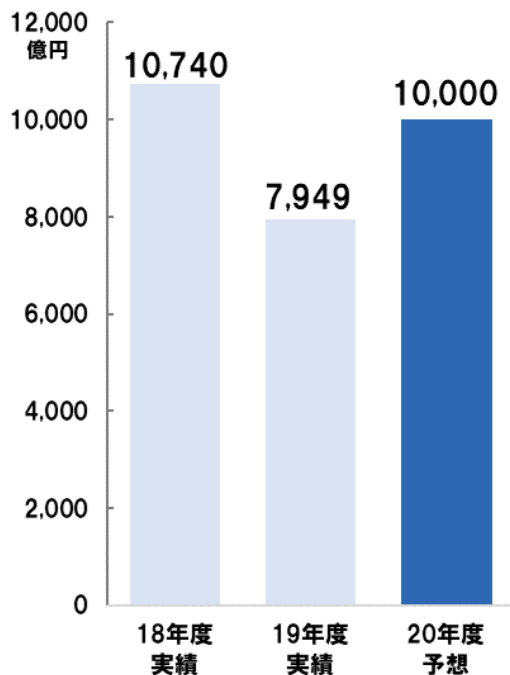
完成工事高

- 大型工事の施工量が少ない時期に当たることに加え、新型コロナウイルスの影響により、減少を見込む

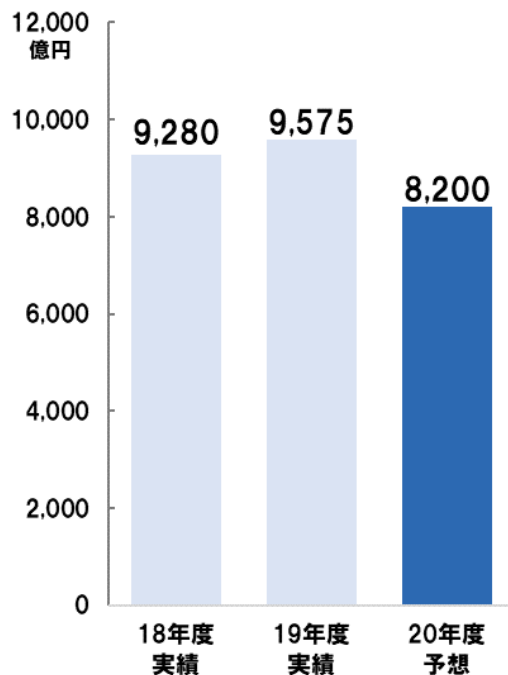
総利益

- 生産性向上や原価低減により、総利益率12%台の確保を見込む

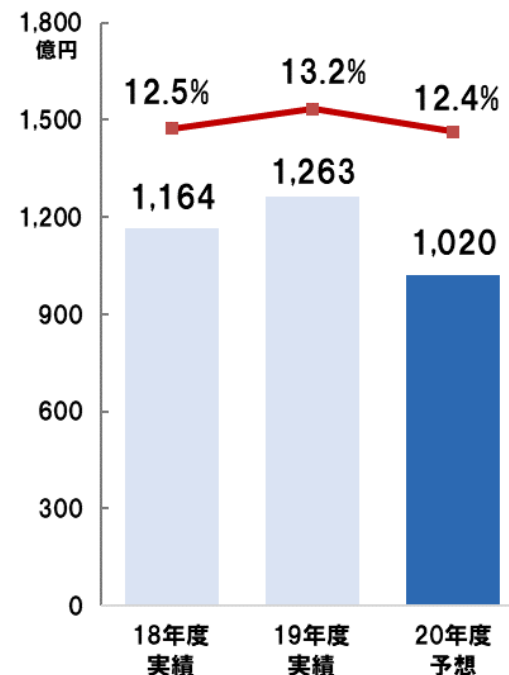
■受注高



■完成工事高



■完成工事総利益



3.事業別の概況 ③開発事業等(単体)

受注高

➤ 高水準の19年度から減少を見込む

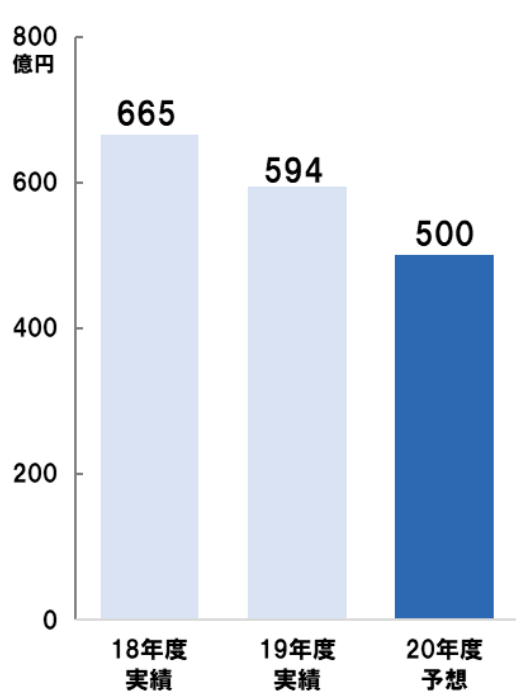
売上高

➤ 契約締結済み案件の売却による増収を見込む

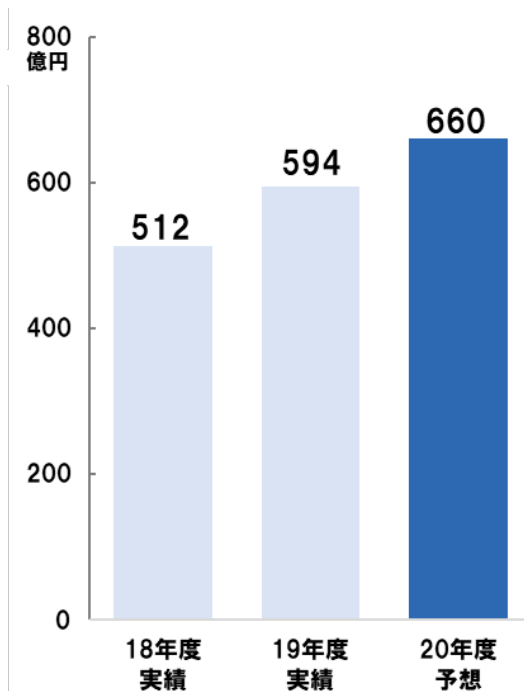
総利益

➤ 売却案件増加による増益を見込む

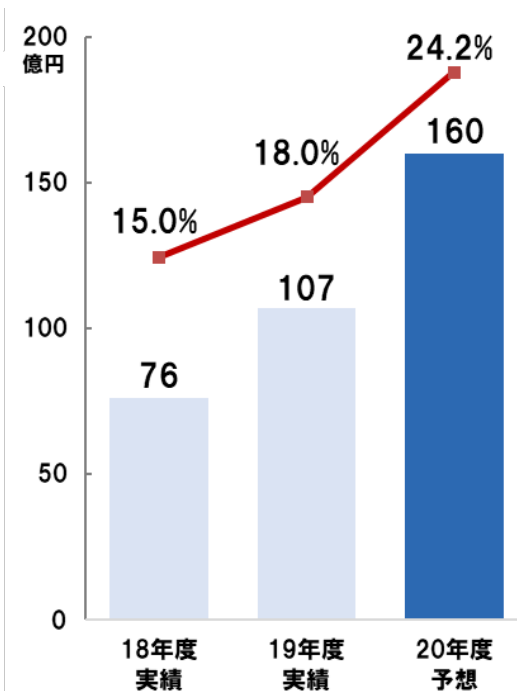
■ 受注高



■ 売上高



■ 売上総利益



3.事業別の概況 ④国内関係会社

受注高

- 新型コロナウイルスの影響による若干の減少を見込む

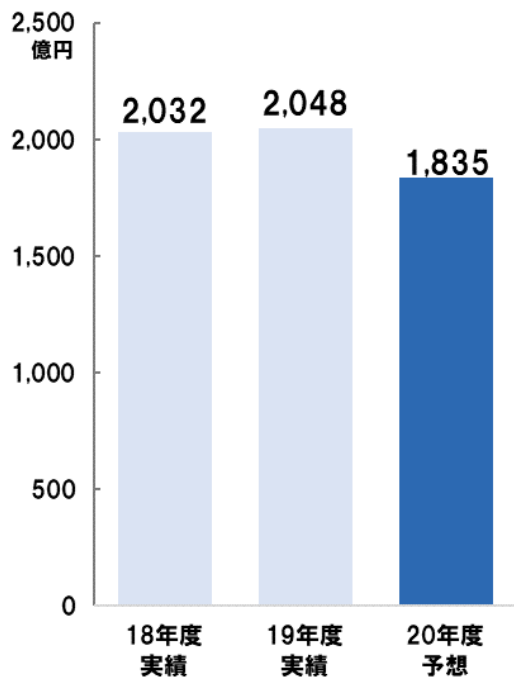
売上高

- 受注減少や運営施設の稼働率低下による減収を見込む

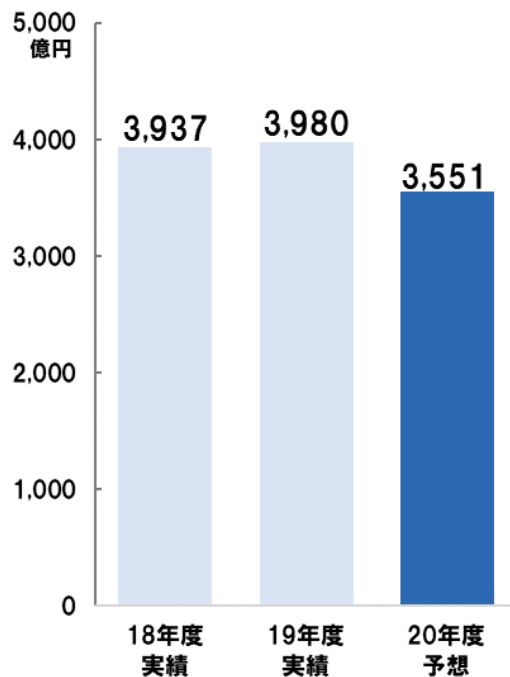
当期純利益

- 建設事業の減収減益、運営施設事業の減益を見込む
- 19年度に独占禁止法関連損失引当金戻入額29億円を計上

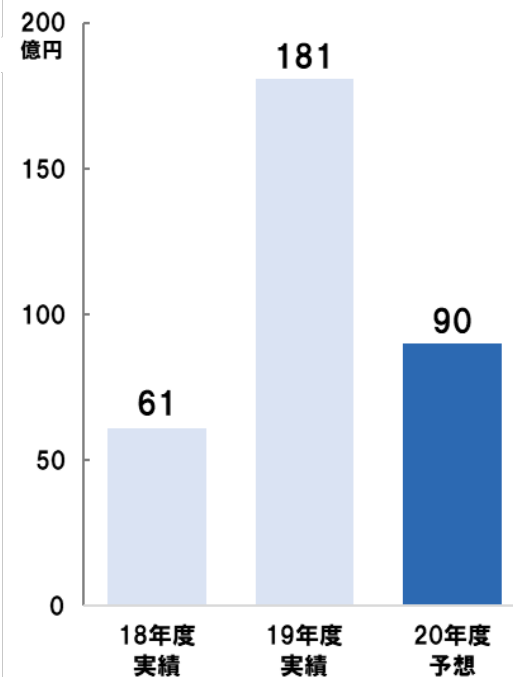
■建設事業受注高



■売上高



■当期純利益



3.事業別の概況 ⑤海外関係会社

受注高

- ▶ 新型コロナウイルスの影響による計画遅延等を勘案し、減少を見込む

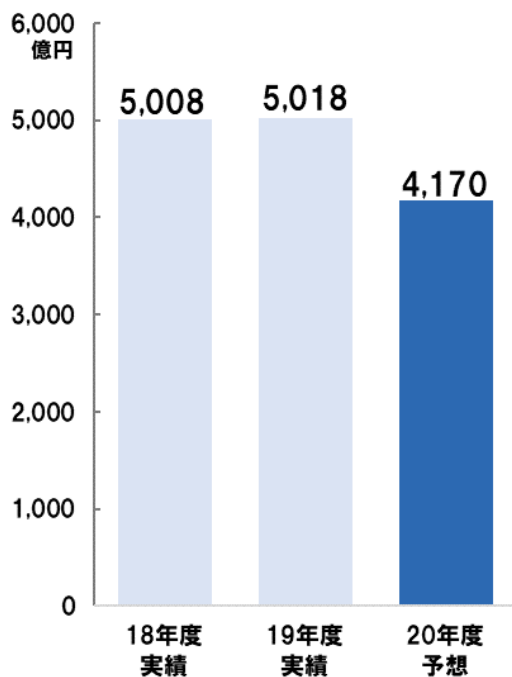
売上高

- ▶ 新型コロナウイルスの影響はあるが、豊富な手持ち工事や開発案件の販売計画を踏まえ増収を見込む

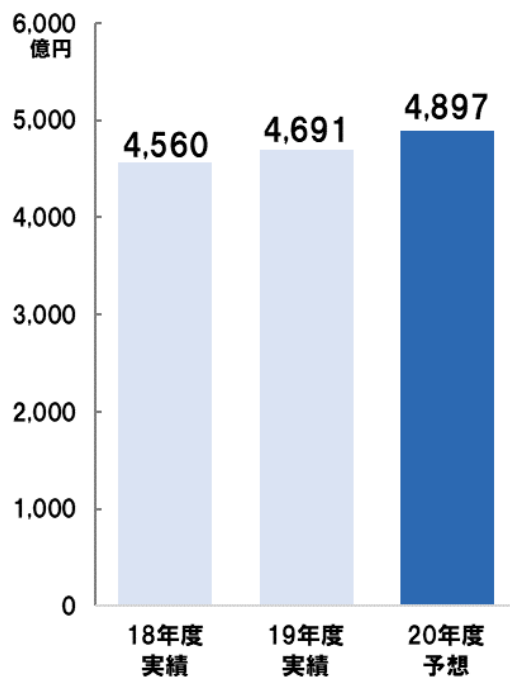
当期純利益

- ▶ 建設事業における一定期間の現場閉鎖とそれに伴う経費増加、開発事業における販売時期の見直しや運営施設の稼働率低下を見込む

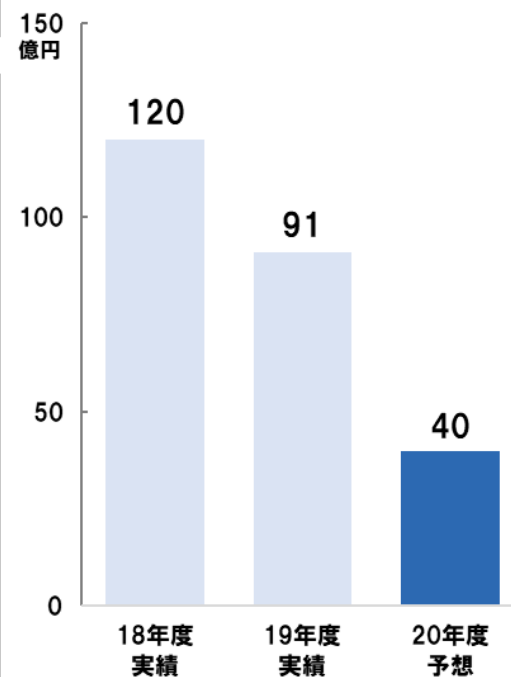
■建設事業受注高



■売上高



■当期純利益



4.株主還元

1株当たり年間配当50円を維持

| 単位:億円 | 18年度 実績 ^{※1} | 19年度 実績 | 19年度 予想 ^{※2} | 20年度 予想 |
|----------------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|
| 1株当たり 年間配当金 | 50.00円 | 50.00円 | 50.00円 | 50.00円 |
| 1株当たり 当期純利益 | 211.67円 | 200.99円 | 184.94円 | 156.07円 |
| 配当性向 | 23.6% | 24.9% | 27.0% | 32.0% |

※1 2018年10月1日付で当社普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年度に係る数値については、2018年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

※2 2019年11月12日公表業績予想

<株主還元方針>

連結自己資本を確保しつつ、配当性向20～30%の範囲を目安に株主に対し安定的な配当に努めるとともに、業績、財務状況及び経営環境を勘案した株主還元を行うことを基本方針とする。

100年をつくる会社



お問合せ先

鹿島建設株式会社 経営企画部

コーポレート・コミュニケーショングループ

E-Mail : ir@ml.kajima.com

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。